

## 岩木山の火山活動解説資料（令和3年8月）

仙台管区气象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1）

百沢東監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況（図2、図3）

10日に山頂付近浅部（深さ0km付近と推定される）を震源とする火山性地震が3回発生しました。同領域を震源とする火山性地震の発生は2019年8月以来です。11日以降、火山性地震は観測されませんでした。

火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図4、図5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図1 岩木山 山頂部の状況（8月20日）

- ・百沢東監視カメラ（山頂の南東約4km）の映像です。
- ・注）鳥ノ海火口から噴気が噴出した場合、高さ50m以上のときに百沢東監視カメラで観測されます。監視カメラからは直接見えませんが、赤破線が鳥ノ海火口の位置を示します。

噴気は認められませんでした。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act/doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act/doc/monthly_vact.php)）で閲覧することができます。

次回の火山活動解説資料（令和3年9月分）は令和3年10月8日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、弘前大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています。

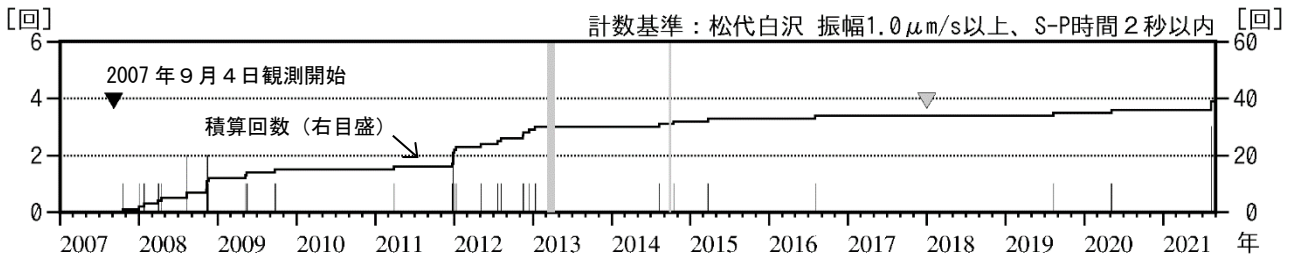


図2 岩木山 日別地震回数（2007年9月～2021年8月）

- ・地震計数に使用した観測点は次のとおりです。（角カッコ内は地震回数の計数基準）
  - ▼観測開始 2007年9月4日～ 弘前大学百沢観測点 [振幅  $1.0 \mu\text{m/s}$  以上、S-P時間2秒以内]
  - ▼ 2018年1月1日～ 松代白沢観測点 [振幅  $1.0 \mu\text{m/s}$  以上、S-P時間2秒以内]
- ・图中灰色部分は欠測を表しています。

10日に火山性地震が3回発生しました。

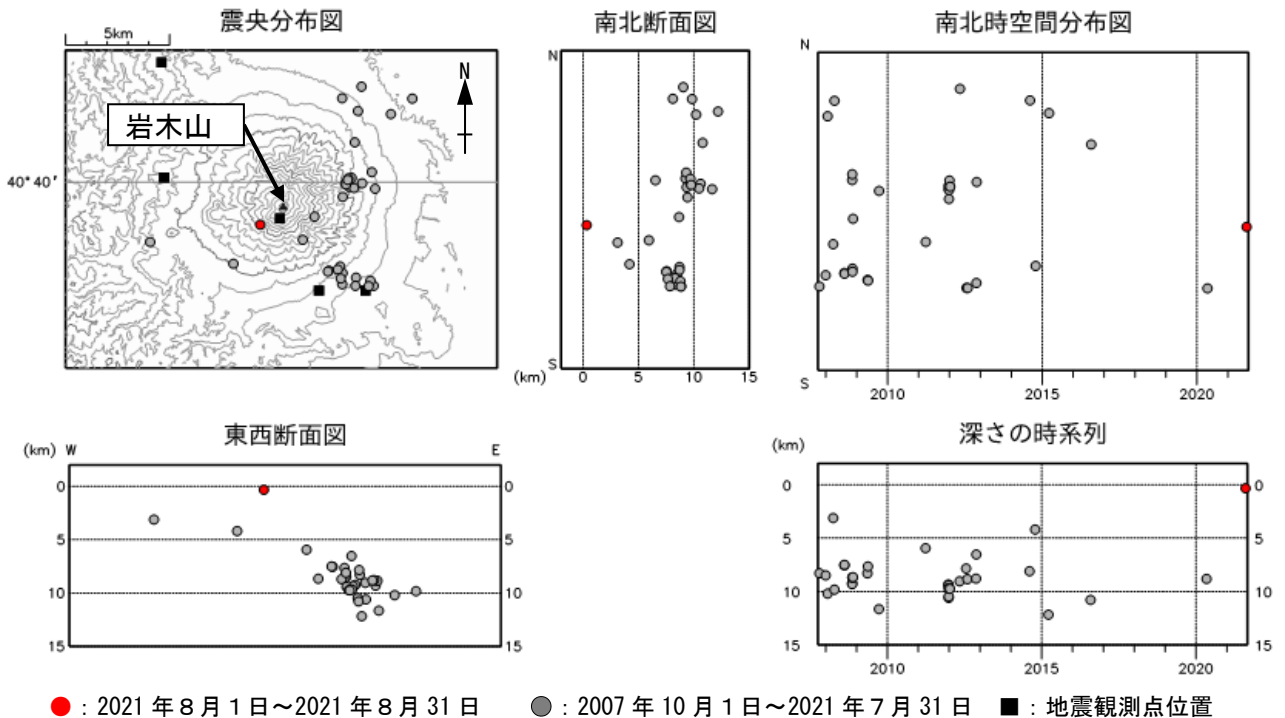


図3 岩木山 地震活動（2007年10月～2021年8月）

- ・震源決定には図6下の地震観測点も使用しています。

10日に山頂付近浅部（深さ0km付近と推定される）を震源とする火山性地震が3回発生しました。岩木山での火山性地震の発生は2020年5月以来ですが、山頂付近浅部が震源と推定される火山性地震の発生は2019年8月以来です。11日以降、地震活動に特段の変化はなく経過しました。

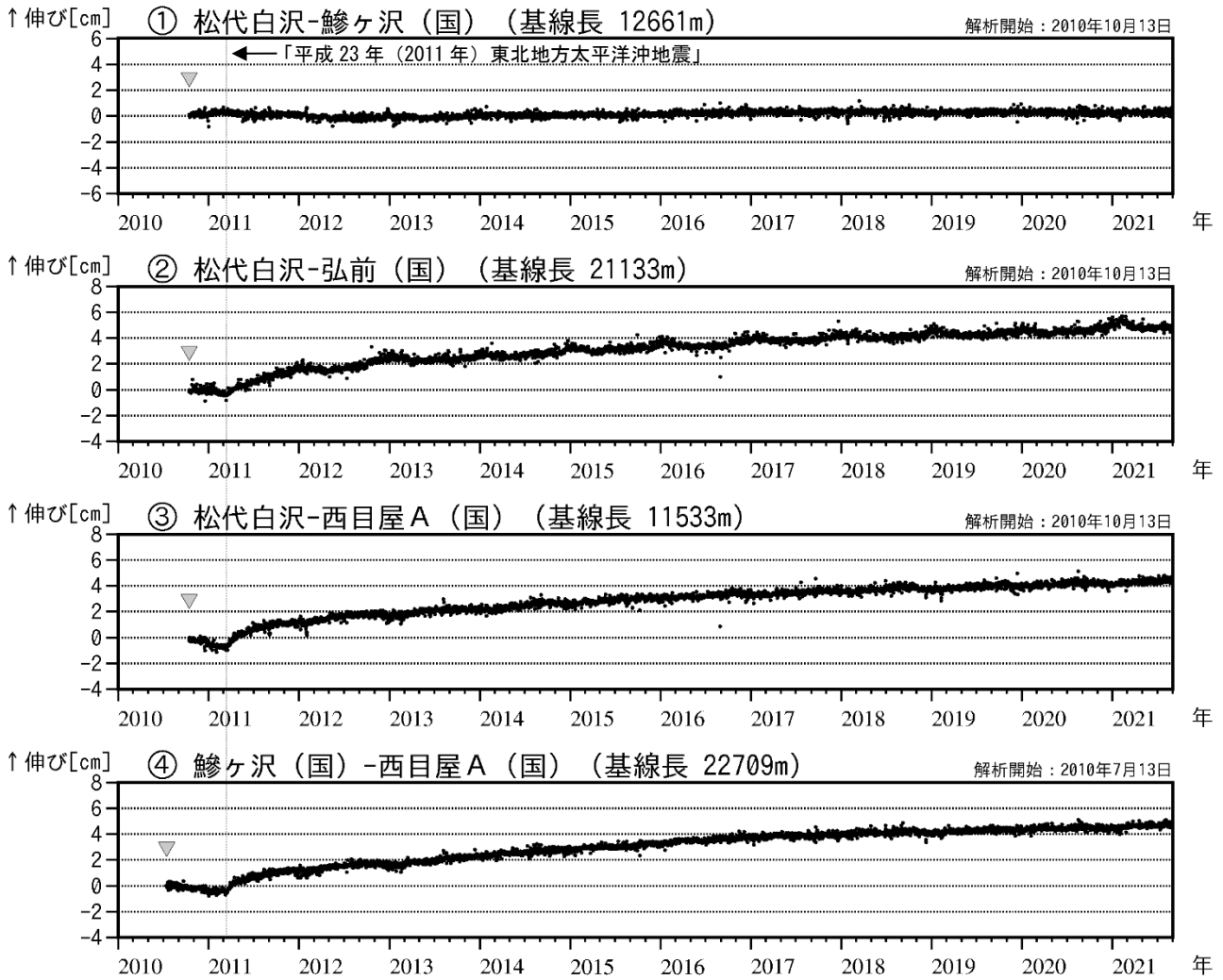


図4 岩木山 GNSS 基線長変化図 (2010年7月～2021年8月)

- ・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・①～④は図5のGNSS基線①～④に対応しています。
- ・(国)は国土地理院の観測点を示します。
- ▼：解析開始を示します。

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

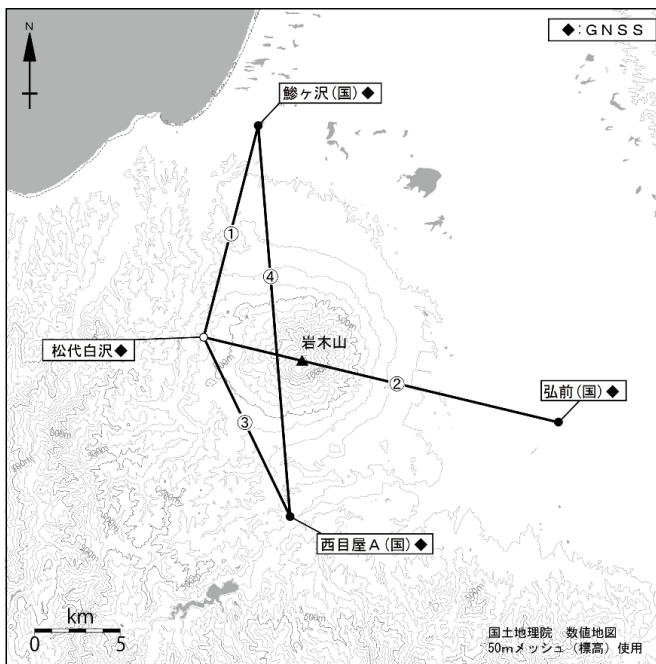


図5 岩木山 GNSS 観測基線図

白丸(○)は気象庁、黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国)：国土地理院

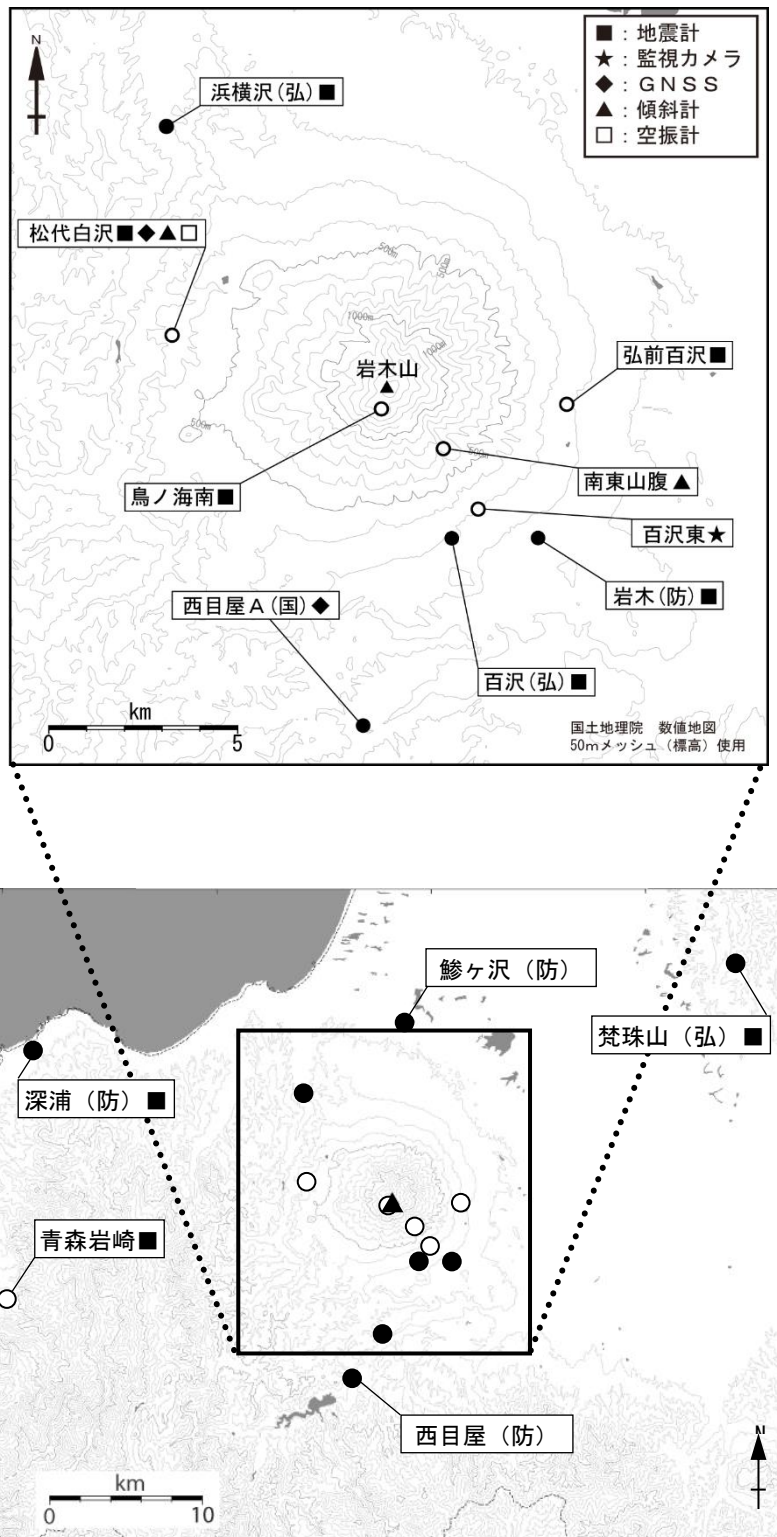


図6 岩木山 観測点配置図

白丸(○)は気象庁、黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院 (弘) : 弘前大学

(防) : 防災科学技術研究所